



令和3年度

講評と対策

入学試験問題

四天王寺高等学校

国語

問題内容

配点

出題の意図

一 「麦藁帽子」 今江祥智(原生林社)	38点	「麦藁帽子」をめぐる達男と静枝の交流を軸として、母や祖母をふくむ人物相互の関係、登場人物の心情の推移を読み取る。
二 「俳句の宇宙」 長谷川權(中公文庫)	42点	「古池や蛙とびこむ水の音」の句を題材とし、論の展開に注意して、芭蕉のめざした俳句の世界や筆者の考える俳句の本質を読み取る。
三 「宇治拾遺物語」	20点	卷三「狐、家に火をつくること」 侍に矢を射られた狐の報復話を読み、筋の展開と教訓を読み取る。

各問題講評

【書き取り】

多かった誤答は、一の「抗議」を「講義」、「感嘆」を「簡単」とするもの(正答率50%)、二の「痛烈」を「痛裂」、「排除」を「廢除」とするもの。(正答率60%)漢字が表意文字であることに注意して学習したり、同音異義語を文脈で読解する力が求められる。

【一】小説

問二 心情説明。誤答は「ひがんだ思い」に注意せず、評価を表すことばになっていないもの。(正答率60%)

問四 理由説明。「外国語みたい」の語意をpushしていることが求められる。多かった誤答は「なまりがあったから」「難しい言葉だったから」(正答率50%)

問六 傍線部具体的説明。達男が静枝にどのような「思い」を伝えようとしたのかを答える。本文の「正に丁寧な手編みの、心のもった【作品】だったのだ。」に注意する。「帽」(日→日)「編」(右下が「用」)等の誤字が多かった。(正答率50%)

問七 「わしづかみ」は祖母のことばや態度に対する静枝の行動。「静枝もその通り、ちゃんとわかっていた。～口惜しかった。」に注意する。多かった誤答はア。(正答率40%)

問八 「まっさら」は汚れ、濁りのないものの象徴。多かった誤答はエだが、「まっさら」は肯定的意味なので「心残り」「後悔」は不適。(正答率30%)

問九 「ほうほう～つぶやいただけだった。」「とだけ祖母もつぶやいて」等、祖母は静枝を受容し見守る存在として描かれている。(正答率70%)

【二】論理的文章

問二 一文を抜き出して理由を答える設問。解答は「この句を初めて読んだときに始まり、末尾を「～からだ。」で結ぶ一文。内容だけでなく、構文(文の組み立て)もヒントになる。(正答率70%)

問三 文学史。紀貫之、小野小町は中学校の教科書や百人一首に採られている有名歌人。(正答率70%)

問四 本文の「これが、～其角が考えていた俳諧というものだったに違いない。」に注意し、「これ」の指示内容をpushさせる。十五字以内にまとめる。「～ことを考えていた。」に続くように答えるので具体的内容。多かった誤答は「和歌の言葉の因襲を批判する」の抜き出しただけのもの。字数だけに注意し、抜き出しではないことに対して注意不足の解答が多かった。(正答率10%)

問五 比喩の説明。前文の「このもどかしさはいつまでも解けなかっただろう。」と倒置されている。(正答率60%)

問六 「内容」を答えるという指示を無視し「批判」の語が含まれている一文や、和歌や修正案の具体的説明を抜き出している誤答や、芭蕉の「創造的批判」と其角の因襲批判とを混同した誤答が多

かった。「一文」の途中から抜き出したり、「因襲」の誤字も見られた。(正答率60%)

問七 「場」は主題につながる重要語。俳句の本質は「場」を前提とした作り手と読み手の交流、関係性にある。(正答率60%)

問八 「進言」の誤答は、「進言」という堅いことばの意味を知らなかったためと思われる。(正答率40%)

問九 空欄補充。はっきりした「場」のあるAと、「場」を排除したBという対比に注意する。Cは「活かそう」の連用修飾語であることから選ぶ。(正答率50%)

【三】古文

古文は中学校で履修する範囲から出題し、古典文法や古語の特別な知識を問う設問は出題していない。問四以外はよくできていた。

問四 傍線部説明問題。(正答率20%)多かった誤答は「狐に家を焼かれたこと」等、「かかるもの」の主語が取れなかったか、主語に留意していなかったと思われる。「悪いことをすると報いを受けること」「動物をいじめたら報いを受けること」等の誤答は、設問の「具体的に」の指示を無視している。「狐」→「狐」等の誤字も見られた。

次年度入試 アドバイス

四天王寺高校の入試問題では、本文が長い文章が出題される傾向があるので、問題演習をするときに記述問題もきちんと書いて、時間内に、解答する力をつけてください。本文が長いということは、具体例 → 筆者の主張、登場人物の心情の変化、を読み取る力が要求されます。傍線部の近くだけ見て、とりあえず解答する、ではなく、時間をはかって実際に書いて解答する経験を積むことが大切です。その際に設問の指示(「具体的に」等)に注意して、設問で問うていることを、設問の形式(「解答欄に合うように」等)で答えるように注意しよう。

本文には中学生の話し言葉では使わない抽象的な概念を表すことばを用いた文章も出題されるので、新聞を読んで、現代社会の問題について考えたり、教科書で習った作家の他の作品を読んだりして、話し言葉以外の文章語やちょっと古い言い回しに慣れてください。文章を読むスピードは、読書量に関係します。評論、小説、随筆、詩歌等、いろんな種類の文章に親しみ、辞書を用いて語彙を豊かにしてください。

古文では中学校の教科書で習わない古典文法の知識は出題されません。教科書に掲載されている古文を繰り返し音読することで、古典の文章に慣れてください。音読は最も有効な古典学習法です。

数学

問題内容

配点

出題の意図

1. 計算問題	20点	基本事項（式の計算・因数分解・方程式）の確認。
2. 平面図形	10点	基本事項（三角形の角・平行線・二等辺三角形）の求値。
3. 空間図形	10点	空間図形の切断面を描く。相似比と体積比の活用。
4. 1次関数と平面図形（相似）の融合問題	24点	グラフから1次関数の式と台形の辺の長さを求める。グラフから面積が1/2になる時刻を求める。相似を用いて、直角三角形になる時刻を求める。
5. 2次関数と直線	16点	2次関数のグラフと面積を絡めて総合力を見る。
6. 確率と平方根の融合問題	20点	カードを並べてできる根号を含む数について、有理数の意味・根号を含む数の大小関係・整数部分の意味を問い、確率と平方根の総合力を見る。

各問題講評

全体として、約54%の出来具合でした。

- 60%の正答率でしたが、全問解答したい問題です。(1)の正答率は20%とよくありませんでした。符号と、根号を含む数の累乗に気を付けましょう。(2)(3)(4)はいずれも正答率65%でした。(2)は、「組合せをつくる」ことで和と差の積の公式が使えて因数分解できます。(3)は $x+1=X$ 、 $y-2=Y$ と置き換えて見通しよく解きましょう。(4)は $2021=43 \times 47$ に気付かなくても解の公式で解けます。
- 55%の正答率でした。角度の計算の典型問題なので正解したいところです。
- 今年度の問題で最も正答率が低い12%でした。(1)の正答率は20%でした。切り口の図形は立体の表面にあること、平行な面の切り口は平行になることを確認しておきましょう。(2)は(1)の結果を利用するため、正答率は3%にとどまりました。小さい立方体の体積をVとすると、小さい立方体については切断面の奥の立体は三角錐で体積は1/6V、手前の立体の体積は5/6Vになります。大きい立方体の体積は8Vで、切断面で合同に切れているから体積は4Vずつになります。比と文字を用いて解くと間違いが防げます。
- 正答率は70%とよくできていました。(1)の1次関数の式を求める問題はほぼ全員できていました。(2)の台形の面積の1/2になる時刻を求める問題も80%の正答率で、1次関数と動点の問題はよく理解できていました。(3)の正答率は30%でした。 $\angle APD=90^\circ$ になる場合には、Pが辺AB上にあるとき(*)1通りと、辺BC上にあるとき△PDBと△DPCが相似であることから2次方程式を立てて得られる2通りとがあります。また、 $\angle ADP=90^\circ$ になる場合は(*)のときの点Pの位置をHとして、Pが辺BC上にあるとき△ADHと△PDCが相似になるときに1通りあります。以上より答えは4通りありますが、解答欄が3個(1か所に±のついた答えを入れる)という答えづらい問題でした。
- 70%の正答率でした。(1)(2)は2次関数のグラフと直線の典型問題で正答率90%ととてもよくできていました。(3)は等積変形の問題で正答率20%でした。計算が複雑になるので時間的に厳しかったようです。線分の比と面積比を利用すると楽に解けます。いずれにして

も2次関数と図形の問題は頻出なのでしっかり対策しましょう。

- 30%の正答率でした。(1)の正答率は60%です。 $c=1,4$ のとき、 $\sqrt{}$ が外れて有理数になります。(2)は正答率20%でした。最大値を作るには4,5,6のカードを使うこと、最小値を作るには1,2,3のカードを使うことは分かっても、それぞれ6通りずつの使い方の中で最大・最小の数を見つけるのが難しかったようです。(3)は正答率4%でした。整数部分が4だからaは3以下です。後は丁寧に数えていきましょう。

次年度入試 アドバイス

例年、中学1年から3年までの全分野より偏りなく出題し、「正確な計算力を身につけているか、基礎事項を理解しているか、題意を読み取り論理的に考えていくことができるか。」などをみる問題を作成しています。正確な計算力と柔軟な思考力が試されるので、すばやく計算する練習とあきらめずじっくりと考える練習を2つの柱として準備をしてください。

コロナ禍のため、今回の入試に限り円周角と三平方の定理は出題しませんでした。次年度入試の対策をするにあたっては、令和2年度以前の入試問題を研究し、今回のポイントであった三角形の相似、合同、面積、文章から連立方程式や2次方程式を立てて解く問題、立体図形、2次関数、場合の数、確率に加えて、これまでの入試で頻出だった円周角と三平方の定理の問題にも力を入れて勉強しておきましょう。

ただし、難問を練習する必要はなく、標準問題を中心にとこのような基本的事項が使われているのかを確かめながら勉強しておくことが最も有効な対策です。ケアレスミスにも注意しましょう。「符号のミス」「累乗のミス」「比を書きときに左右を間違え」「因数分解が完結していない」などに気をつけてください。

最後に、過去の問題を研究する際には、時間配分に十分注意し、解ける問題は必ず得点しましょう。配点はどの問題もほぼ均等なので、比較的易しい各大問の(1)、(2)を確実に正解することが大切です。

英語

問題内容

配点

出題の意図

I 長文(物語)	24点	英文読解と内容把握力をみる
II 長文(エッセイ)	25点	英文読解と内容把握力をみる
III 会話文	20点	対話形式の文の読解力をみる
IV 英作文	9点	英文の構成力をみる
V 整序	6点	英文の構成力をみる
VI 二文同意	8点	単語力と表現力をみる
VII 語彙	4点	単語力と表現力をみる
VIII 発音	4点	音声の定着度をみる

各問題講評

- [I] 『あるマラソン大会でひたむきにゴールを目指す最終走者の姿が、筆者のその後の人生に大きな影響を与える』という内容の物語文。全体の正答率は55%を少し超える位。
問2:それまでの文脈を踏まえたとえでの空所補充問題。女性の最終走者がどのような状態であったのかを理解していれば容易である。問3:(い)の直前にI wanted her to stopとあり、その対照的な気持ちを③で述べている、と考える。問4:他の走者達がゴールした後の彼女(=the only runner)のことを考えて文を作ってみること。問5:接続詞asの前後の内容をそれぞれまとめれば、このasの意味が「時」を表すことは明白。問6:⑥は「そんなことは出来ない、という気持ちになる」の意味。ofの後ろは名詞になるので、I just can't do it.という文の各語をハイフンでつないでひとまとめにしている。問7:ここまでの文脈が理解できていないと答えにくいので正答率はかなり低くなったが、問6がヒントになるはず。最後の文の意味は「私の目の前の難題はとても簡単だとわかる」となる。
- [II] 2020年に話題となった「ポリ袋・エコバック」がテーマのエッセイ。正答率は50%を少し超える程度。
問2:「助動詞の後は原形」の基本ルールが使えていない答えが多かった。問4:短い文ではあるが、関係代名詞と受動態の構造把握が受験生には難しかったようである。問7:直前の段落の内容を3つにまとめればよいのだが、自分で創作したと思われる解答が多かった。問8:「1年間で節約できる金額」の計算は「1年間で使うポリ袋の代金13ドルから、布の袋代(1枚1ドルを5枚分)を引いた金額(⇒8ドル)」で導く。単純な問題だが、「すなわち」を表すorの用法がポイントとなる。
- [III] 昨年から引き続き、シンガポールからの留学生が日本で体験する出来事をまとめた会話問題。読む量は多いが平易な英文である為、今年も80%を超える正答率であった。
- [IV] 与えられた状況を自由に英語で表現する問題。教科書によく出ているmusicやhelpの使い方の間違いが目立ったが、この問題も80%を超える正答率であった。
- [V] 整序問題。誤答例として「なぜ～だか知っていますか」をWhyから始める答えが多かった。正答率は80%を少し超える位。
- [VI] 二文が同意になるように空所を補充する問題。副詞well、前置詞forの使い方ができていなかった。正答率は70%を少し切っていた。
- [VII] 語彙を問う問題。正答率は80%程度でよく出来ていたが、Augustやminutesなど基本語のミスがあったのは残念であった。
- [VIII] 発音を問う問題。教科書によく出てくる基本語でも、正しく発音することは意外と難しい。正答率は65%。

次年度入試 アドバイス

本校の長文問題は例年分量も多く読み応えのあるものが出題されます。やさしい英文から始めていただいて結構です。たくさんさんの英文を楽しく読む習慣をつけて、「読む」ことに抵抗がないようにしてください。又、正確に読んでいくためには基本的な文法力は欠かせません。教科書の例文を繰り返し正確に覚えて、その英文の意味がわかるだけでなく、日本語を見ればすぐにその英文が言えるようになるまで練習を重ねましょう。中学校で学習する3冊の教科書をそのように学習すると、かなりの文法力がつくはずですよ。語彙に関しては、今回の大問Ⅶレベルの語は何度も「発音して書いて覚える」という作業で、確実に身につけてください。

次年度受験される皆さんの健闘を、心よりお祈りいたします。

理科

問題内容

配点

出題の意図

1 動物の分類	12点	身の回りの多様な動物への興味関心と、からだや生活の特徴における共通点や相違点から動物を正しく分類する力を問うた。
2 化学反応と物質の量的関係	25点	さまざまな化学反応(酸とアルカリ、酸と金属、酸化物の還元)の量的な関係を、情報から読み取って整理し、考える力を問うた。
3 光の進み方・力のはたらき方	25点	反射・屈折等の光の進み方や力のはたらき方等について、やや複雑な設定において法則・規則の知識を活用することができるかを問うた。
4 雲のできるしくみ	16点	雲ができるしくみの基本的な内容の確認と、それに基づく応用として、雲底と雲頂の変化を、図(エマグラム)から読み取れるか問うた。
5 植物の成長と開花のしくみ	13点	植物の成長に関する基本的な知識と、植物の開花のしくみについての思考力や実験データを正しく読み取る力を問うた。
6 星の日周運動と年周運動	9点	天球座標で、ある日の黄道上の太陽の1日の動きと1年の動きを併せて考えることができるか、観測地による星の動きの違いが理解できているかを問うた。

各問題講評

- 基本的な知識を問う問題や、教科書などで見慣れた動物の分類は全体的によくできていた。そのような中、無セキツイ動物がどのような特徴から分類されているかの知識が曖昧なためか、(3)や(5)でのミスが比較的多く見られた。日頃から、身近に溢れる動物の共通点や相違点などに目を向け、日々の授業で学ぶことを通して生物への興味関心をもつて過ごよう心がけて欲しい。
- 知識を問う問題や化学反応式については全体によくできていた。実験データをグラフ化し、グラフから解析する(2)、化学反応の量的関係を文字式で表現する(7)、与えられた情報から物質の質量の比を使って考える(8)などの正答率が低かった。単に知識を覚えるだけでなく、実験、観察などで得られた情報を解析して規則性を見いだすことを意識して学習して欲しい。
- 多くの受験生が出題分野において基本的な知識は十分持っているように見受けられた。(2)光の屈折による鉛筆の見え方の問題では、作図をすれば容易に解ける問題であったはずが、「ガラス板を回転させる」という見慣れない出題方法に戸惑ったためか正答率が低かった。(6)では動滑車のはたらきを理解できていない、あるいは見落とした解答が目立った。(7)においては、おもりが台からはなれた時点からあとは、ばねの伸びが一定になることに気づかなかった解答が目立った。
- 大気中の水蒸気が凝結する過程についての問いは基本的な内容であり、多くの受験生は正解することができた。一方、図1のグラフの読み取りにおいては上昇する空気塊の温度変化と周囲の大気温度変化が同時に記載されていることが読み取れず、結果として正解にたどりつけない受験生が多かった。図(エマグラム)の読み取りに必要なポイントはすべて問題文中に書かれている。正解に至るために大切になるポイントは以下の3点である。①高さDで空気塊の温度変化が変わることからここで雲ができ始める、すなわちSが露点であると判断する。②高さPで空気塊の温度とまわりの気温が等しくなることからこの高さで空気塊の上昇が止まり、雲ができ終わると判断する。③空気塊の湿度が高いと露点は高くなることからSは右にずれると考える。
- 単純な知識を問う問題、中でも細胞分裂についての問題は全体的によくできていた。反面、(3)以降の問いのように、植物の開花における性質を問題文から正しく読み取り、それらの情報を使ってその場で考える

問題では、時間がかかり苦戦したと思われる受験生が多かった。

- 地球上から見た天体の動きを題材とした問題であったが、動く視点からの見え方、立体空間中での天体の動きをイメージする力を問われる問題であり、全体を通して正答率は低かった。そのような中、(3)の正答率が比較的高かったことから、星の日周運動と年周運動それぞれについては理解ができていると思われる。対して、日周運動と年周運動は同時に起こっているため、両者を関連づけて星の動きを考える必要があるが、それが十分に理解できていなかったようである。そのため、太陽は、天の赤道に平行に東から西へ日周運動し、黄道上を西から東へ年周運動することが区別できていない誤答が1)の作図で多く見られた。

次年度入試 アドバイス

以下に理科の対策を列挙しておくので、しっかり準備しよう。

☆中学の理科で学ぶ重要な「用語」や「化学式」、「単位」などを正確に理解すること。

☆特に本校では実験や観察に関する問いも多いので、教科書で扱われている実験については、実験操作の意味もしっかり理解し、積極的に実験を体験すること。またデータの処理に関し、グラフの作成や読み取り、計算力をつける学習を大切にすること。

実験結果や観察結果から考察する問題では、必ずそのヒントが問題中に含まれている。しっかり読み解くように訓練する必要がある。また、天体など立体的な現象の理解イメージをする。

☆生活の中で体験する身近な現象などに、日頃から関心をもつよう心がけること。

☆過去の問題を解いて「問題形式」や「解答方法」などに慣れるとともに、問題文をしっかりと読み取るトレーニングをすること。

☆記述題では、理科の用語を的確に用いるとともに、わかりやすい表現が出来るよう心がけること。自分で文章を書いてみるのが大切である。また、誤字脱字にも注意が必要である。

社会

問題内容

配点

出題の意図

1 地理分野 (ヨーロッパ)	24点	ヨーロッパの基礎的な地誌問題を出題した。
2 地理分野 (中部地方)	10点	リニアや新幹線に注目し、中部地方について出題した。
3 歴史分野 (日本史分野通史)	26点	大阪の歴史に関わる文章をリード文とし、原始から現代の政治・経済・文化に関して、図版やグラフも用いて出題した。
4 歴史分野 (世界史分野通史)	20点	人類の誕生から近代に至るまで、歴史の転換点に着目しながら出題した。
5 公民分野 (政治、時事問題)	20点	現代社会や政治の特徴について出題した。2020年の出来事に関する時事に関して出題した。

各問題講評(具体的に)

- 1 ヨーロッパの自然、産業、文化などの問題を出題したが正解率は約5割であった。問11の時差の問題は正解率が高かった。問4は地図中の国の中から解答する問題で正解率が低かった。高得点者と低得点者の差が大きかった。
- 2 中部地方に関して、時事的な要素も取り入れて基本的な問題を出題した。問5の正解率が低かった。ニュースの記事から静岡県にある河川が答えになると判断できれば、選択肢に静岡県にある河川は一つしかなかったため、以外であった。
- 3 問4、問8、問12の正解率がやや低かった。問4は古墳時代、問5は織田信長に関する基本的な問題であり、予想外であった。問12は近代の年代整序問題で、「近現代」「年代整序」を苦手とする受験生が多い傾向を反映したものと考えられる。
- 4 概ねどの問題も正答率が高かったが、やや低いのは問1原始の人類の特性、問4中世世界、問6大航海時代、問7欧州の近代史であった。いずれの時代においても、地域や国、宗教や社会・経済の状況、年代が錯綜している向きがあった。
- 5 問6・問7の世界に関する時事問題の正答率がかなり低かった。日本に関する時事問題は正答率が高かった。

次年度入試 アドバイス

1・2【地理分野】

世界地誌は、毎年出題していますので、傾向を見極めて、教科書に出てくる地域の基本問題には対応してください。また、鉱産資源や農産物の生産量の統計は、地図帳などに出ていますので覚えましょう。日本の地理に関しては、今年は地名を選択肢としましたが、正しい漢字で答えられるように学習してください。

3【歴史分野 日本史】

歴史はいわゆる「暗記科目」ではありません。歴史用語の単純な暗記ではなく、教科書をしっかりと読み込んで、友人に出来事や時代の特徴を説明できるようにしてみましょう。学習するときには、図版や史料・グラフにも必ず目を通すようにしてください。また、過去問にも必ず取り組んでください。

4【歴史分野 世界史】

- ①教科書をしっかりと熟読し、時代や地域(国)の特徴を把握・理解することに努めましょう。
- ②教科書や副教材に掲載されている図版や写真・史料・グラフには必ず目を通しましょう。
- ③①、②を念頭にしっかりと学習すれば、おおよその歴史の流れが直線的のみならず、広い視野で多角的に理解できると思います。歴史学習は、コツコツ積み重ねていくことが肝心です。

5【公民分野】

政治的分野も経済的分野も教科書の本文だけでなく、注釈・欄外・表・グラフ等も含めてしっかりと学習しておいて下さい。時事問題に関しては普段からテレビのニュースや新聞などに関心を持って、学習を深めて欲しい。その際、日本と世界の両方の出来事に関心を持って欲しい。

【全般】

地理分野・歴史分野・公民分野を全体的にバランス良く学習することが求められる。普段から教科書だけではなく、地図帳・資料集・新聞なども活用して、幅広い知識を身につけるような学習をして欲しい。